

## 2021年7月26日～24日

### 世論調査（日経、ハンギョレ）

#### 支持率を迫る 日経世論調査アーカイブ

日経新聞 2021年07月25日 20:45 更新

※（ ）内数字は前回（6月25日～27日調査、27日報道）

あなたは菅内閣を支持しますか、しませんか。

支持する 34% (43%)

支持しない 57 (50)

いえない・わからない 9 (7)

政党支持率 支持または好意を持っている政党

自民党 38% (43%)

立憲民主党 9 (8)

公明党 4 (3)

日本維新の会 4 (4)

日本共産党 4 (4)

国民民主党 1 (1)

支持(好意)政党なし 35 (31)

首相に処理して欲しい政策課題

菅首相に優先的に処理してほしい政策課題は何ですか。次の11個の中からいくつでもお答え下さい。

新型コロナウイルス対策 54% (59%)

景気回復 35 (33)

財政再建 22 (20)

行政・規制改革 12 (10)

年金・医療・介護 36 (36)

子育て・少子化対策 25 (26)

防災 14 (12)

外交・安全保障 17 (20)

憲法改正 8 (9)

地域活性化 15 (15)

社会のデジタル化 11 (12)

その他 1 (2)

いえない・わからない 5 (5)

コロナウイルスへの政府の対応

新型コロナウイルスについて、あなたは日本政府のこれまでの取り組みを評価しますか、しませんか。

評価する 36% (39%)

評価しない 58 (57)

緊急事態宣言の効果

政府は東京都に4度目となる緊急事態宣言を発令しました。感染拡大の防止に効果があると思いますか、思いませんか。

効果があると思う 25%

効果があるとは思わない 70

ワクチン接種計画

あなたは、政府による新型コロナウイルスのワクチン接種計画が順調だと思いますか、思いませんか。

順調だと思う 29% (38%)

順調だとは思わない 65 (59)

ワクチンの接種希望

あなたは新型コロナウイルスのワクチンを接種したいと思いま

すか、思いませんか。

直ちに接種したい 20% (34%)

副作用などの状況を見極めて接種したい 24 (31)

接種したくない 6

既に接種した 49 (6)

その他 0 (0)

いえない・わからない 2 (1)

接種したい・した計 92 (93)

五輪の開催

東京オリンピックは、ほとんどの会場で観客を入れずに開催することになりました。この判断について、あなたの考えにもっとも近いものをひとつだけお答え下さい。

無観客は妥当だ 37%

人数を制限して観客を要れるべきだった 25

通常通りの観客で実施すべきだった 3

開催を再延期または中止すべきだった 31

いえない・わからない 3

五輪の関係者への水際対策

東京オリンピック・パラリンピックで来日する選手や関係者への政府の水際対策の内容について、あなたは適切だと思いますか、思いませんか。

適切だ 33%

適切ではない 56

酒類の提供制限

政府は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されている地域で飲食店の酒類(さけるい)提供を規制しています。あなたは酒類(さけるい)提供の規制についてどう思いますか。

今の規制は適切だ 38%

今の規制は厳しすぎる 39

今の規制は緩すぎる 15

酒類提供飲食店をめぐる対応

新型コロナウイルス対策を巡り、西村康稔(にしむらやすとし)経済財政・再生大臣は酒の提供を続ける飲食店へ金融機関からの働きかけなどを求め、反発を受けて撤回しました。政府の一連の対応に納得できますか、できませんか。

納得できる 24%

納得できない 68

次の首相にふさわしい人

次の政権の首相にふさわしいと思うのは誰ですか。次の10人から1人だけお答え下さい。

石破茂 19% (13%)

河野太郎 19 (23)

小泉進次郎 12 (13)

安倍晋三 6 (9)

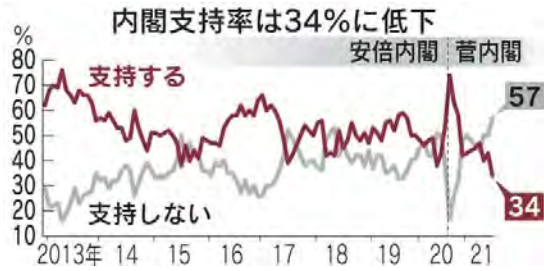
菅義偉 5 (6)

枝野幸男 4 (6)

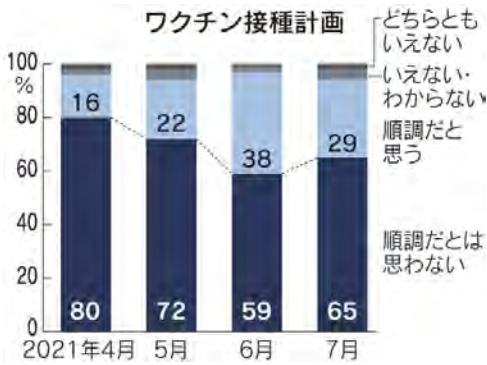
いえない・わからない 26 (22)

2021年07月 回答者数998人 (2021年6月1007人)

内閣支持率、最低の34% 接種計画「順調でない」65% 本  
世論調査



日本経済新聞社とテレビ東京は 23～25 日に世論調査を実施した。菅義偉内閣の支持率は前回調査の 6 月から 9 ポイント低下の 34%で、2020 年 9 月に政権が発足してから最低となった。政府の新型コロナウイルスワクチンの接種計画について「順調だとは思わない」との回答が 65%と 6 ポイント上昇した。



菅内閣の支持率はこれまで今年 5 月の 40%が最低だった。40%を最後に割ったのは安倍晋三前内閣だった 20 年 6 月の 38%で、このときは翌月に 40%台を回復した。

34%という水準は 7 年 8 カ月続いた第 2 次以降の安倍前政権で最も低かった 38%も下回る。民主党政権だった 12 年 11 月以来の水準となる。

内閣を「支持しない」は 7 ポイント上昇の 57%となり 12 年 12 月以降で一番高い。「支持しない」が「支持する」を上回るのは 3 カ月連続だ。「支持する」割合を世代別に分析すると 18～39 歳は 41%、40～50 代は 32%、60 歳以上も 32%だった。

内閣を支持しない理由のトップは「指導力がない」の 53%で、2 位は「政府や党の運営の仕方が悪い」の 35%だった。支持する理由の首位は「自民党中心の内閣だから」で 36%だった。

接種計画を「順調だとは思わない」との回答は質問を始めた 4 月から毎月低下していたのが上昇に転じた。「順調だと思う」は 29%で 6 月から 9 ポイント下がった。ワクチンの供給不足などにより企業の職場接種や地方自治体で予約を停止する動きが相次いだのが影響したとみられる。

政党支持率は自民党が 38%でトップを維持した。6 月の 43%から 5 ポイント下がった。2 位の立憲民主党は 9%でほぼ横ばいだった。支持政党がない無党派層は 35%で 4 ポイント上がった。調査は日経リサーチが 23～25 日に全国の 18 歳以上の男女に携帯電話も含めて乱数番号 (RDD) 方式による電話で実施し、998 件の回答を得た。回答率は 47.1%だった。

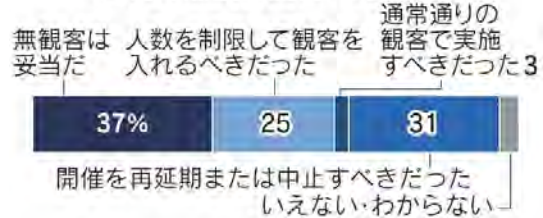
**五輪無観客「妥当」37% 水際対策は「不適切」56% 本社世論調査**



国立競技場 (23 日、東京都新宿区)

東京五輪はほとんどの会場が無観客開催となった。大会組織委員会や政府、都道府県などによる判断について日本経済新聞社の世論調査で評価を聞くと「無観客は妥当だ」が 37%で最多だった。

**五輪の無観客開催への評価**



「人数を制限して観客を入れるべきだった」は 25%、「通常通りの観客で実施すべきだった」は 3%にとどまった。「開催を再延期または中止すべきだった」は 31%だった。

選択肢や聞き方が異なるため一概に比較できないが、6 月の調査で似た趣旨の質問をした際は「再延期または中止すべきだ」が 37%、「無観客で実施すべきだ」が 33%だった。

来日する選手や関係者への水際対策の内容が適切かとの質問には 56%が「適切ではない」と答えた。「適切だ」は 33%だった。政府は大会関係者らと外部との接触を断つ「バブル方式」で開催による感染拡大を防ぐと強調する。空港やホテルなどで両者の分離がきちんとされていない事例が指摘される。

**酒規制「厳しすぎ」39%、「適切」38% 本社世論調査**

日経新聞 2021年7月26日 1:00

日本経済新聞社の世論調査で緊急事態宣言や「まん延防止等重点措置」の適用地域における飲食店の酒類提供の規制について聞いた。「厳しすぎる」が 39%、「適切だ」が 38%、「緩すぎる」が 15%と評価が割れた。



年齢によって評価に差が見られた。40～50 代は「厳しすぎる」が 43%と最も多く、次いで「適切だ」が 40%だった。60 歳以上も「厳しすぎる」の割合が 36%と一番大きかった。18～39 歳は「適切だ」が 43%で「厳しすぎる」の 41%を上回った。居住地別で見ると都市部の方が「厳しすぎる」が多い傾向があった。首都圏の 1 都 3 県と関西圏の京都、大阪、兵庫、奈良は 41%で、それ以外の地域は 38%だった。「厳しすぎる」と回答した層の内閣支持率は 31%と全体より 3 ポイント低かった。

「厳しすぎる」と答えた人のうち 78%は西村康稔経済財政・再生相の酒類制限の発言を巡る政府の対応に「納得できない」を選

んだ。

#### 4度目宣言「効果ない」70% 「積極接種」若いほど低く 本 社世論調査 西村氏発言「納得できない」68%

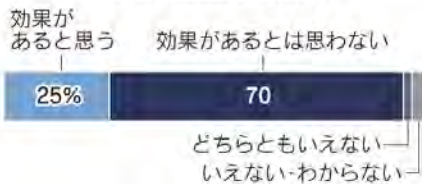
日経新聞 2021年7月26日 1:00



東京・渋谷を歩くマスク姿の人たち（7月13日）

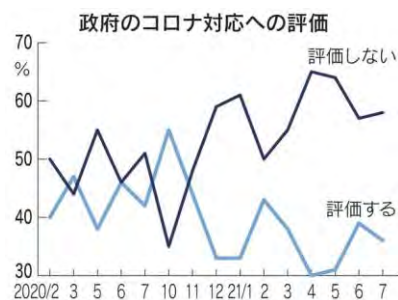
日本経済新聞社の23～25日の世論調査で、4度目の発令となった緊急事態宣言について感染拡大の防止に「効果があるとは思わない」との回答が70%に達した。飲食店への酒類提供制限を巡る西村康稔経済財政・再生相の発言への政府対応に「納得できない」は68%に上った。

##### 緊急事態宣言の効果



新型コロナウイルスへの政府の取り組みを「評価しない」は前回からほぼ横ばいの58%だった。「評価する」は36%で3ポイント下がった。足元で新規感染者数が増加しており否定的な回答が過半となった。

今回の宣言に関して「効果があると思う」は25%だった。どの世代でも3割未満で、18～39歳で29%、40～50代が26%、60歳以上は23%だった。



緊急事態宣言の発令地域では時間に関係なく飲食店で酒類の提供はできない。自粛要請に従わない飲食店が相次いでおり効果を疑問視する見方がある。

西村氏は宣言発令下で酒類提供を続ける飲食店に金融機関などから働きかける方針を示した。感染拡大の要因とみる酒類提供を止める狙いだったが、政権内で具体的に詰めた措置ではなく、与野党の反発を受けて撤回した。

政府の一連の対応に「納得できない」は68%で、「納得できる」の24%に大差がついた。与党支持層でも「納得できない」が6割を占めた。野党支持層では8割を超えた。

ワクチンの接種意向を聞いた質問では「直ちに接種したい」(20%)

と「既に接種した」(49%)を合計した「積極的に接種」する層が69%になった。6月調査の62%から7ポイント上昇した。

「積極接種」は60歳以上で85%、40～50代で61%に達したものの、18～39歳は49%にとどまった。18～29歳に対象を絞ると46%まで下がる。

世界のSNS(交流サイト)で接種の効果に否定的な根拠のない情報が流れており、日本でも若年層への影響が懸念されている。

#### 「次の首相」石破氏2位 首位・河野氏と僅差 本社世論調査

日経新聞 2021年7月26日 1:00 [有料会員限定]



日本経済新聞社の世論調査で次の首相にふさわしいのは誰かを聞いた。首位は河野太郎規制改革相(19%)で、2位の自民党の石破茂元幹事長は小数点以下の差で同じ19%だった。

| 河野・石破両氏が僅差 |       |          |
|------------|-------|----------|
| 1位         | 河野太郎  | 19% (-4) |
| 2位         | 石破茂   | 19 (+6)  |
| 3位         | 小泉進次郎 | 12 (-1)  |
| 4位         | 安倍晋三  | 6 (-3)   |
| 5位         | 菅義偉   | 5 (-1)   |

(注)敬称略。1位と2位は小数点以下の差。カッコ内は6月調査からの変化

3位は小泉進次郎環境相(12%)、4位が安倍晋三前首相(6%)だった。菅義偉首相は5位(5%)で、立憲民主党の枝野幸男代表が6位(4%)と続いた。

6月の世論調査と比べると河野氏が4ポイント下がった。6ポイント上がった石破氏は前回3位から順位を上げた。

回答者を自民党支持層に絞って分析すると河野氏が26%、石破氏が15%で上位5人の順位は全体と変わらない。野党支持層や無党派層では石破氏が首位となる。

首相の党総裁の任期は9月末で満了する。総裁選は党所属の国会議員と全国の党員・党友が投票権を持つ。

#### 【世論調査】韓国国民「東京五輪に関心ある」32%…5年前のリオ五輪は60%

ハンギョレ新聞登録:2021-07-24 03:49 修正:2021-07-24 07:52

大統領の支持率は2ポイント増の40% 民主党33%、国民の力28%



2020東京五輪開会式を翌日に控えた22日午前、東京のオリンピックスタジアムへの一般の立ち入りが規制されている。開会式は無観客で行われ、日本政府と東京オリンピック組織委員会が招待した関係者約950人が参加する=五輪写真共同取材団/ハンギョレ新聞社

2020東京五輪の開会式が行われる23日、韓国の国民の10人

に 6 人が東京五輪に関心がないという世論調査の結果が韓国ギャラップにより発表された。

ギャラップが 20~22 日に全国の成人 1003 人に対して「東京五輪に関心があるか」を尋ねたところ(信頼水準 95%、標本誤差 ±3.1 ポイント)、「関心がある」は 32%、「関心がない」は 66% だった。5 年前の 2016 リオ五輪は「関心がある」が 60%、「関心がない」が 41%だった。2018 平昌(ピョンチャン)冬季五輪の「関心がある」は 71%だった。ギャラップは、五輪に対する関心度は 1992 バルセロナ五輪以降で最低水準であり、1992 年以降の同様の調査で「関心がない」が「関心がある」を上回ったのは今回が初だと発表した。東京五輪開催の見通しを聞く質問には「悲観的」という回答が 84%で、「楽観的」(7%)を圧倒した。

● 主要 올림픽 개최 전 관심 정도 1992-2021



1992 バルセロナ五輪以降の韓国市民の五輪に対する関心度。青線が「関心あり」、灰色の線が「関心なし」=韓国ギャラップ提供 //ハンギョレ新聞社

東京五輪に関心があると答えた回答者に関心のある種目を 2 つ選んでもらったところ、サッカーが 40%で注目度が高く、続いて野球が 20%、アーチェリーが 16%の順だった。

清海部隊集団感染事件、キム・ギョンス前慶尚南道知事の「ドゥルーキング・コメント操作」有罪などの悪材料があるにも関わらず、文在寅(ムン・ジェイン)大統領の支持率は 2 ポイント上がり、40%を回復した。政党支持率は、共に民主党が先週から 2 ポイント上昇の 33%、国民の力が 1 ポイント下落の 28%となった。続いて正義党が 4%、国民の党と開かれた民主党が 3%だった。詳細は、韓国ギャラップまたは中央世論調査審議委員会のウェブサイトを参照。

オ・ヨンソ記者 (お問い合わせ japan@hani.co.kr)